

(様式4)

◆ (氏名)

<所属・職名> 京都女子大学 国際交流センター 助教

<略歴>

日本語指導協力者を約15年間務めるとともに、地域においてボランティアによる学習支援教室を主宰するなど保護者を含めた支援に長年携わる。その後、大阪大学非常勤講師を経て現職。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

外国人児童生徒に対する教育としては、中国語話者であることを活かした母語と日本語の両言語を介した教科学習支援、リライト教材、やさしい日本語、学習に困難を抱える子どもに対する支援などの実践経験がある。現職では日本語教師課程を担当し、保育士および幼稚園／小学校／中学校／高校教諭を目指す学生たちに、日本語教育の基礎的な知識とスキルも身に付けてもらうことに携わる。研究としては、ヴィゴツキー理論に基づく教育実践の質的分析や、多言語創作絵本作りに取り組んでいる。

<対応可能学校種>

小学校、中学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可

対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

ありません。

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。